



としょかんだより

宇都宮市立昭和小学校 一令和7年6月号



雨だそと外で遊べないでも雨の日だって楽しいことがいっぱい。じめじめしと降る雨音に耳を傾けながらこわい本を読むと、いつもよりなんだかこわさが倍増しませんか。ふふふ。
みんなとこわい話で、もりあがって長い梅雨を乗りきりましょう。



6月15日は「栃木県民の日」です。

とちぎといえば、「かみなり」ですね！夏季に限ると雷日数日本一になることも。みなさんも「かみなり」の本を読んで、雷（らい）さまを身近に感じてみよう。



「雷のひみつ」

こめ助 まんが Gakken
雷が発生するひみつを知るとなぜ栃木県が多いのかなぞが解けます。なんとそのひみつは地形にあった。栃木県民必読です。



「おもしろ妖怪学100夜」

千葉幹夫 著 子どもの未来社
雷といっしょに落ちてくる妖怪「ライジュウ」。イタチよりも大きくするどい爪を持つ。なんとトウモロコシが好物なんですって！



「いのちをまもる図鑑」

池上彰 監修 ダイアモンド社
公園で遊んでいたら雷がゴロゴロどこへ逃げたらいい？クイズに答えながらピンチの脱出方法がわかる楽しい本です。



「きょうげん 狂言えほん「かみなり」」

内田麟太郎 文 ポプラ社
空から落ちてケガをしたかみなり様とそれを針で治そうとする医者との掛け合いが何ともおかしい。かみなり様の弱点見つけたり〜。



「カミナリこぞうがふってきた」

シゲリカツヒコ 作 ポプラ社
落ちてきたカミナリこぞうはなぜかタケシの後をずっとついてくる。でも誰にも見えていないみたいだ。えっお家に帰りたいって？いったいどうやって空へもどせばいいのか？



「そらからふるものなんだっけ？」

岩田明子 文 大日本図書
かみなりちゃんとはうちやんのまねして、たいこをどん！するとあれっ？なんだか変なもの落ちてきました。何をふらせばいいんだっけ？



どくしよしゅうかん ミニ読書週間のおしらせ

期日 6月23日（月）～30日（月）

—27日（金）は図書室休館—



～この期間中は本が3冊借りられます～

この機会に「はちまんマンブック」を読んでみよう！

（親子読書カードが終わった人は4冊）

1,2年生は
授業中にやります



本のふくぶくろ

☆1・2ねんせい用 ☆3・4年生用 ☆5・6年生用

～毎日各20ふくろ限定～

本の入ったふくぶくろを一つ選んでカウンターへ
本の中には、おまけ（プラス1冊券？しおり？）が入っています。



スタンプラリー

本を借りた数だけスタンプが押せます。

スタンプがそろったら、プレゼントがありますよ！



6/23（月）給食×図書委員会 読み聞かせ

「やきざかなののろい」塚本やすし ポプラ社

給食メニューは「魚とベーコンのホイル焼き」です。

きれいに食べてもらえなかった魚の「のろい」とは？



読むこと、書くこと、自分を知ること。



第71回

青少年読書感想文全国コンクール

主催／公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社 後援／文部科学省・こども家庭庁 協賛／サントリーホールディングス株式会社

かだいとしょ
課題図書

ていがくねん ぶ 低学年の部

「ライオンのくにのネズミ」 さかとくみ雪作 中央公論新社



ライオンの国の学校に転校したネズミ。言葉も通じず、ただこわいだけ。でも友だちの小さなリスの考えに勇気をもったネズミは、ライオンにむかっていった。前に進む勇気がわいてくる本。

「ぼくのねこポー」 いわせなりこさく まつなりまり こえ けんきゅうしよ
岩瀬成子作 松成真理子絵 PHP研究所



道でひろったねこを飼うことにしたぼく。でも転校生の森くんのねこかもしれないと気づく。手放したくないぼくは森くんのねことは思いたくない。そしてさいごにくだした決断は・・・。

「ともだち」 リンダ・サラ作 ペンジー・デイヴィス絵
しらいすみこ訳 ひさかたチャイルド



いつもふたりいっしょだったぼくとエト。そこへシューがやってきた。ぼくは何だか仲間外れになった気分。おともだちに対していろんな気持ちめげえるみなさんに読んでほしい。

「ワレワレはアマガエル」 まつはしとしみつぶん しょうぼう
松橋利光文 あかね書房



おたまじゃくしの変身。虫を食べる時の様子。すごい数の仲間とかくれんぼ。どれもこれも大迫力の写真でせまってきます。カエルが好きではない人もかわいいと思えるかも。

ちゅうがくねん ぶ 中学年の部

「ふみきりペンギン」 おくはらゆめ作 あかね書房



左利きは変だと話かけてくるペンギン。だれもいないと舌でなめてくる公園のヘビの置物。そんなこと信じない？でも、ふつうじゃない先には新しい何かがあると思うと楽しくなりません。

「バラクラバ・ボーイ」 ジェニー・ロブソン作 ぶんけんしゅつぱん
文研出版



転校生のトミーはバラクラバ帽を決して取ろうとしない。あの帽子の下には何かひみつがあるのか。どうして？いつ取るのか？謎解きのようなドキドキ感と最後の驚きと感動を味わって！

「たった2℃で・・・地球の気温上昇がもたらす環境災害」
ちきゅう きおんじょうしょう かんきょうさいがい
キム・ファン文 チョン・シンギョン絵 童心社



みんなの体温が2℃上ったら、大変ですよ！地球の気温も同様に、生物たちもひどい影響を受けることになることがわかります。ではどうしたら良いか真剣に考えるきっかけとなる本です。

「ねえねえ、なに見てる？」 ヒクター・ベルモント文 かわでしよほうしんしや
河出書房新社



「カラーブラインド」とは色が他の人とは違って見えること。それと一つ、「肌の色の違いや人種のちがいはないか気にならない。」という意味があるそう。考え方の視野がぐっと広がります。

としょしつ かだいとしょ
図書室の課題図書コーナーにあります！
ひとり 1冊の貸出です。今年は何にする？



こうがくねん ぶ 高学年の部

「ぼくの色、見つけた！」 しづえいこ こうだんしや
志津栄子 講談社



生まれつきみんなと同じように色が見えていない。焼けたお肉の見分けがつかなかったり、困ったことはいろいろある。でもそれは自分にとっては特別の世界が見えているのだと気づかせてくれた先生がいた。

「森に帰らなかったカラス」

シーン・ウィルス 作 やまさきみき やく とくましょてん
山崎美紀 訳 徳間書店



ミックが助けたカラスのヒナは、自由に飛べるようになって、なぜか家に帰ってくる。戦後間もない時、周りには心と体が傷ついた人がたくさんいた。命とは、自由とは何か深く考えさせられる本です。

「マナティーがいた夏」 エヴァン・グリフィス作 ほるぶ出版



主人公が大発見したマナティのけが、祖父の認知症、頼りにしていた親友との別れ、かかえる問題が、大きすぎる！それでもさまざまな人と関わる中で、奮闘する姿が胸を打ちます。

「とびたて！みんなのドラゴン」 オザワ部長著 岩崎書店



難病の進行を抱えながら合唱部の顧問となった先生と部員たちの成長を描いた本当の話。「しあわせは、自分の心で決める！」この言葉はきっとみんなの未来を後押ししてくれるはず。